

コースコード：CT-IT410

税込価格：132,000円 (税抜価格：120,000円)

日数：2日間

ここに注目!!

本トレーニングは、CTCテクノロジー株式会社主催トレーニングへのご案内となります。

【オリジナル演習資料】

トレーニングで使用する演習資料は演習の理解度が上がるよう分かりやすく説明されたオリジナルの演習資料を使用いたします。

【集合研修（会場で受講される）の方】

テキスト/演習資料/補足資料は紙を使用いたします。

【オンライン受講の方】

テキスト/演習資料/補足資料は電子版を使用いたします。

Liveオンライン研修で受講される場合、ご受講の際、下記のソフトウェアが必要です。

- ・ Zoom
- ・ Cisco AnyConnect

各ソフトウェアの利用マニュアルは、下記をご確認ください。

[オンライントレーニング\(CTCテクノロジー株式会社主催\) 受講者向けガイドライン](#)

受講対象者

このトレーニングはこのような方におすすめです。

- ・ 仮想化エンジニアを目指す方
- ・ ストレージを入門から学習したい方

前提条件/前提知識

このコースを受講する前に受講者が習得しておく必要がある知識およびスキルは次のとおりです。

- ・ 基本的なPC操作等が行なえる方
- ・ TCP/IP通信の基礎を理解している方（推奨）

目的

このコースを修了すると次のことができるようになります。

- ・ 各種ストレージの接続インターフェースが説明できる
- ・ RAIDの説明が出来る
- ・ RAIDを設定し、ボリュームの作成が出来る
- ・ ストレージで使用される各種機能の説明ができる
- ・ ネットワークストレージの接続方法を説明できる
- ・ Fibre Channel、iSCSIの特徴を説明できる

アウトライン

ストレージの概要

ストレージとは

ハードディスクの基本構造

HDDのインターフェイス(ATA系、SCSI系)

ストレージの接続形態

DAS

NAS

SAN

ファイルレベルアクセスとブロックレベルアクセス

RAID

RAIDの種類(RAID 0、0+1、1+0、3、4、5、6)

リソース割り当て(アグリゲート、ボリューム、LUN)

SANとは

DAS、NAS、SANのメリット/デメリット

SANのコンポーネント

FCとiSCSIの比較

NFSの概要

Fibre Channel

OSI参照モデルとFCモデルの比較

FC各レイヤの特徴



FCフレームフォーマット

フロー制御とクレジット

FCアドレス、WWN(WWNN、WWPN)

FCのセキュリティ

iSCSI

iSCSIの特徴

iSCSIフレームフォーマット

iqn

FCoE

FCoEの特徴

DCB、CNA

FCoEで使用されるEthernet拡張機能

バックアップ

バックアップの方式

復旧時の流れ

スナップショット

レプリケーション

バックアップメディアの種類と方式

ストレージシステムの仮想化

シンプロビジョニング

ネットワークRAID



ファイル仮想化機能

ストレージの各種機能

クラスタリング

自動最適化機能

重複排除機能

本トレーニングはシステム・仮想基盤構築トレーニングコースのストレージ分野を対象としています。

カリキュラム、使用機材は予告なく変更となる可能性があります。